



クリスマスにイチゴがとれる!?



窓辺は
あが家の
ビニールハウス

窓辺 de ミニ菜園

サンタさんもびっくり!

なに!?
クリスマスのイチゴは
買うものじゃろう?



畑

でもなく、ベランダや屋上でもなく、わずか幅10cmの窓辺で、イチゴがそだてられる!? しかも、真冬のクリスマスに収穫だなんて、本当なの?

「はい、意外とかんたんにでき
ますよ」と言うのは、ペットボトルや牛乳パックをつかった野菜栽培を研究する竹村久生さん。家

のなかには、真冬でも暖かいですよ。一日に日光が3〜4時間入る。東・南・西向き窓辺なら、暖かく光合成もできるので野菜が冬でも元気にそだつんです。

外の畑でそだてるイチゴは、冬の寒さにじっと耐えて、春に実がなる。けれど、暖かい窓辺なら、農家のビニールハウス栽培のよう

に冬のうちから収穫できるらしい。しかも、室内だから害虫や病気も少なく、ナメクジやダンゴムシに実を食われる心配もないという。「菜園初心者のかたにもおすすめですよ」と竹村先生。

イチゴだけじゃなくて、いろいろな野菜もかんたんにそだてられるそう。これはやるっきゃない!

一緒にやろうよ!



おしえてくれる人 竹村久生さん
静岡県浜松市立天竜中学校で技術科を担当する先生。全国を飛び回り、ペットボトルや牛乳パックをつかった手軽で楽しい野菜の栽培方法を教える。著書に『おもしろ子ども菜園』(農文協)
取材協力 静岡県浜松市立天竜中学校のみなさん (左から坂上友唯さん、伊藤胡桃さん、鈴木麗菜さん)

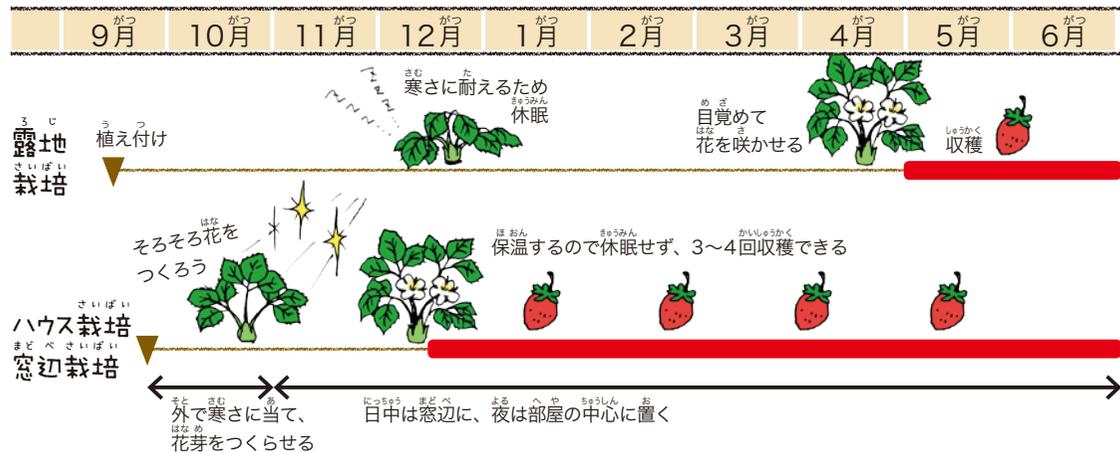
『おもしろ子ども菜園』をプレゼント(83ページ参照)



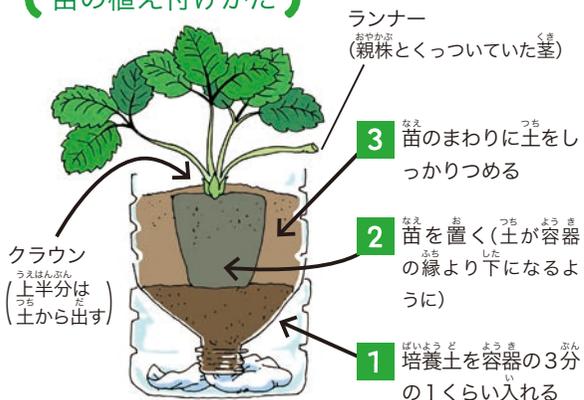
イチゴの苗を植え付ける

苗の植え付けは9月中旬～下旬がおすすめ。土は品質がよく新しい培養土をつかおう。

(イチゴの栽培カレンダー)



(苗の植え付けかた)



イチゴの苗の土は少し崩して小さくすると植えやすい

品種はなにを選ぶ?

とちおとめ、章姫、とよのか、さちのかなど、プロ農家が栽培する最近の品種がおすすめ(早生で休眠が浅い品種がいい)。宝交早生、ダナーなど古い品種は休眠が深めなので不向き

冬に収穫するには?

植え付けのまえに、イチゴの実がなるしくみをちよっと勉強。イチゴは、秋に一定期間低温(10℃、品種によってちがいに当たって、日が短くなると)夜が長くなると、春にそなえて体のなかに花のもと(花芽をつくる)。露地栽培では、その後つよい寒さを感じてイチゴが「休眠」に入り、春暖かくなったら目覚めて花を咲かせる。ところが、窓辺で栽培すると、冬でも日中は暖かいので、イチゴは休眠せずに花を咲かせ、実をならせる。プロ農家のハウス栽培でも休眠させずに冬にイチゴを収穫しているよ。

9月中旬までに植え付け、日当たりのいい外に置いて光合成をたくさんさせよう。10月下旬まで外で寒さに当てて花芽をつくらせたら、10月末からは室内の窓辺に置いて保温し、イチゴを休眠させないようにそだてていこう。



ペットボトル容器をつくる

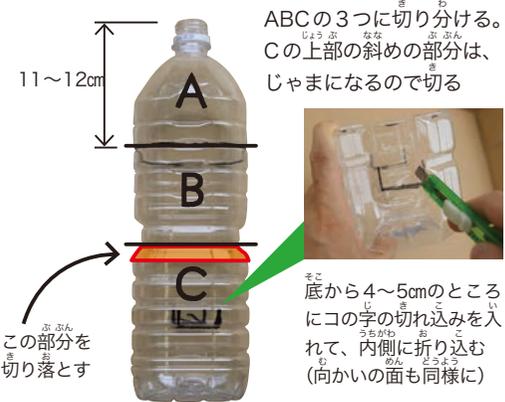
材料はペットボトルなど、身近なものばかり。ペットボトルの底に水が溜まる「底面吸水型」のしくみだから、水やりは2～3日に1回でOK。

(材料)

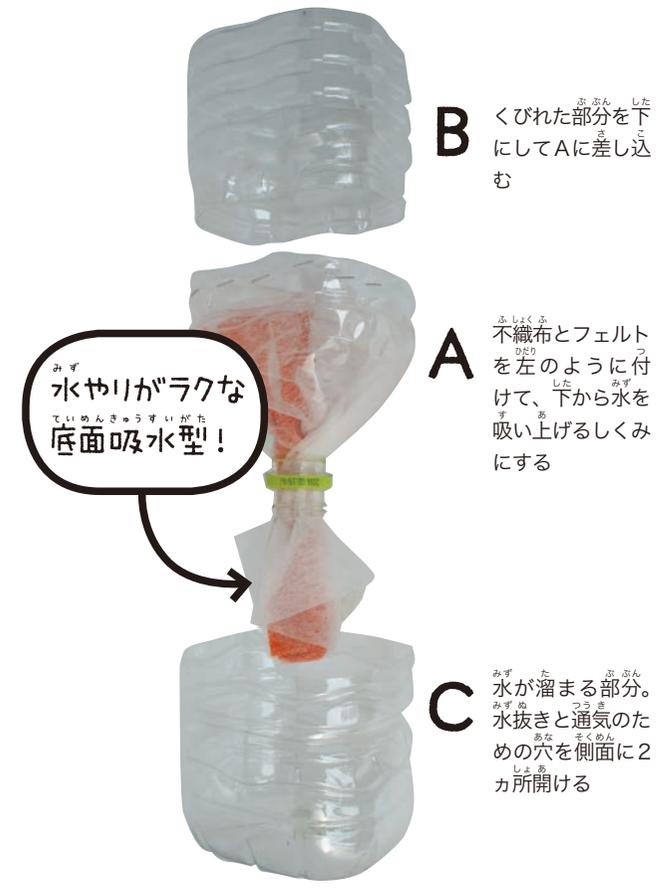


(右から時計回りに) 2Lのペットボトル、ホッチキス、ハサミ、透明粘着テープ(幅の広いもの)、100円ショップで買えるフェルト布、生ゴミ用の不織布の袋

(ペットボトルの切りかた)



(つくりかた)



水やりがラクな底面吸水型!

できた!



3 不織布とフェルトを束ねて、ペットボトルのAの口から7～8cm出す

4 不織布の逆側をペットボトルAの内側に沿わせるように広げて、端をペットボトルの外側に少し出し、ホッチキスで留める

ペットボトルを切るときは、切り口で手を切らないように注意しよう!



1 ペットボトルを切り分ける。溝の両側からハサミではさむようにすると、軽い力で切れる

2 フェルトを幅2～3cm、長さ15cmの短冊状に4枚切り、重ねて不織布の袋の中央に入れる

イチゴより
かんたん！



いろいろな野菜もそだてられる

レタスやトウモロコシなどの葉もの栽培にもぴったり。ミニ根菜もできちゃう。
栽培する季節は、窓辺に日が入りやすい秋～春がおすすめ！※

※夏至前後の5～7月は太陽が真上にくるので窓辺に日が入りにくい。2～4月にもっとも日が入る

（こんな野菜がそだつ）



クレソン

こちらは何回も収穫できる



小ネギ

根元から5cm上で切れは何回も収穫できる



レタス

ベビーリーフなら1カ月くらいでこのとおり



パセリ

食卓のいどりに、ちょっとずつつかえて便利



ミニダイコン

根が地上にニョキっと伸びる



つるなしインゲン

マメだってできちゃう

このほか、チンゲンサイなどの葉もの、パセリ、ミント、ルッコラなどのハーブ類、ミニニンジン、小カブなどのミニ根菜もよくそだちます

はやくそだつトウモロコシがおすすめ！ （タネのまきかた）



3 土をタネの厚みの2～3倍くらいかぶせて指で軽く土を押さえ、土を崩さないように端からやさしく水をかける



2 野菜のタネ(写真はトウモロコシ)を、間隔が均等になるようにいねいに置く(畑より密集させて大丈夫)



1 土を容器の上端から3cmくらい下までしっかりと詰める



トウモロコシが
こんなにモリモリ
そだった！



おすすめ！ トウモロコシピザ
ギョウザの皮にピザソース、刻んだトウモロコシとソーセージ、とろけるチーズをのせてトースターでチン。かんたんおいしい

早く
食べたいな～



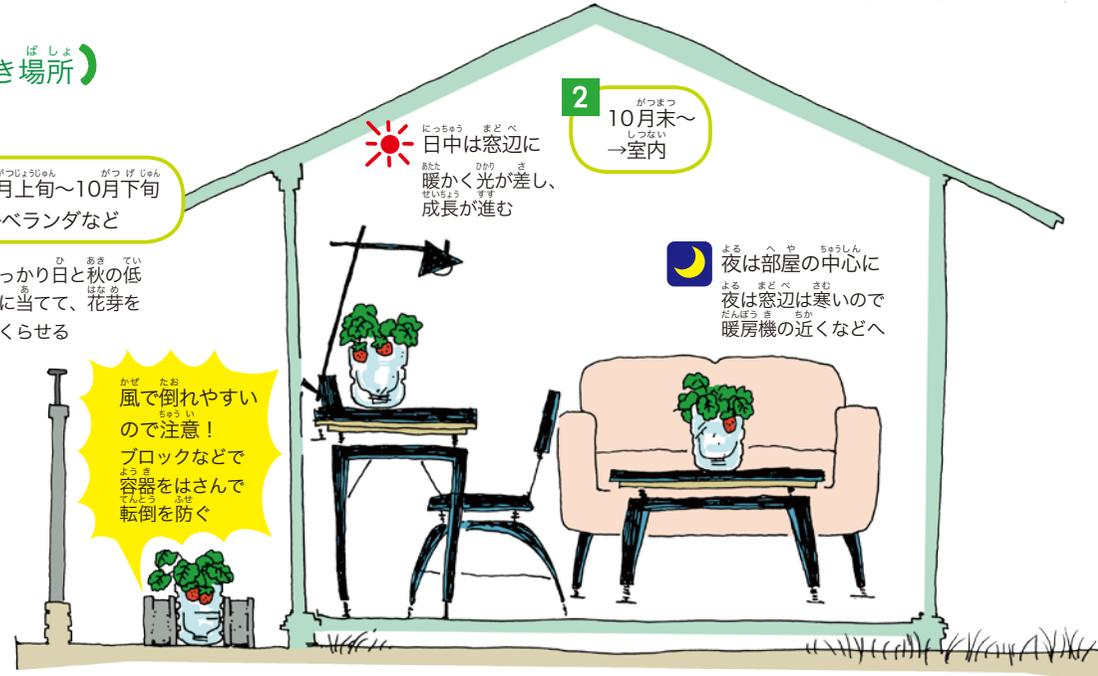
イチゴを冬に実らせる

時期ごとに置き場所を変えて、温度をコントロールするのがコツ。
つぼみが見えるまでは無肥料で、花が咲いたら肥料をやるのもポイントだ。

（置き場所）

1 9月上旬～10月下旬
→ベランダなど
しっかり日と秋の低温に当てて、花芽をつくらせる

2 10月末～
→室内
日中は窓辺に暖かく光が差し、成長が進む
夜は部屋の中心に
夜は窓辺は寒いので暖房機の近くなどへ



風で倒れやすいので注意！
ブロックなどで容器をはさんで転倒を防ぐ

（みずやり）



冷たい水はダメ！
冷たい水だとイチゴが凍えるので、冬はペットボトルに入れた水を日なたで温めてから、2～3日に1度土の表面に水をかける

（肥料）



つぼみが見えたら粒状肥料を
体の中にチッソ成分が多いと花芽がつきにくいので、つぼみがつくまでは無肥料。ついたら粒状タイプの肥料を月に1度、数粒ずつ土の上に置く

（人工受粉）



必ずやる！
受粉をするミツバチが来ないので、花が咲いたら、一つずつ筆で花の中心をなでて人工受粉をする。同じ花を2～3日続けて作業すると確実



ついに、真冬にイチゴが実った!!!

光と温度が十分にあれば、クリスマスごろには実が赤くなる。その後も6月まで3～4回収穫できる